

【岡山県】 TEC-FORCEの活動状況(H30.7.8) 〈応急対策班〉

- 活動場所:岡山県倉敷市
- 活動概要:排水ポンプ車による排水作業



作業工程打合せ



排水状況の確認



上空からの様子



排水状況

【広島県】 TEC-FORCEの活動状況(H30.7.10) 〈河川班〉

- 活動場所: 広島市安佐北区白木地内(三篠川)
- 活動概要: 被災状況調査等



広島市(三篠川) 被災箇所確認



広島市(三篠川) 被災状況調査



広島市(三篠川) 被災状況調査



調査報告書作成

【広島県】 TEC-FORCEの活動状況(H30.7.10) 〈砂防班〉

- 活動場所: 広島市安芸区矢野東(矢野川支川)
- 活動概要: 被災状況調査等



広島市(矢野川支川) 被災状況調査



広島市(矢野川支川) 地元対応



広島市(矢野川支川) 広島市消防局と状況確認



調査報告書作成

【岡山県】 TEC-FORCEの活動状況(H30.7.10)＜道路班＞

- 活動場所:岡山県倉敷市真備町地内
- 活動概要:被災状況調査(小田川支川)、道路啓開(国道486号)等



作業方針打合わせ



放置車両確認



被災状況調査



道路啓開作業

【広島県】 TEC-FORCEの活動状況(H30.7.10)

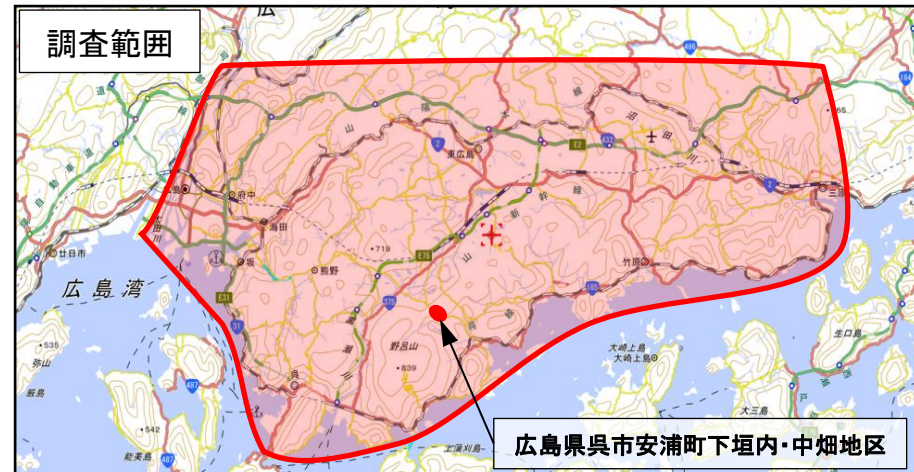
●土砂災害専門家(TEC-FORCE 高度技術指導班)によるヘリ調査

○平成30年7月豪雨により、土砂災害の被害が最も大きかった広島県南部地域において、土石流の発生源調査及び二次災害防止のための技術的助言を目的に、土砂災害専門家(TEC-FORCE高度技術指導班)による調査を実施。

○調査実施日:平成30年7月10日(火)

○土砂災害専門家:

国土交通省 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部
桜井 深層崩壊対策研究官
国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ
藤村 主任研究員



土砂災害専門家による調査状況
(広島県呉市安浦町下垣内・中畑地区)



【記者会見でのコメント(要約)】

○総雨量400mmを超えた箇所に災害の箇所が集中。特に500mmに迫る箇所では、土石流・崩壊の密度が高い。

○災害の形態としては、平成29年7月の九州北部豪雨に類似し、山の至る所で崩壊が発生し、増水した河川水により下流まで流下し氾濫している箇所も見られた。

○現状では二次災害が直ちに発生するような状況ではないが、大雨が降れば溪流内に残っている土砂が流出する危険性は高い。

○カメラによる監視体制の確保、河道に堆積した土砂の撤去、大型土のうによる氾濫防止対策などが必要と考えられる。



記者会見実施状況